

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》志渡晃一

【概 要】

公衆衛生の原義は「すべての人の生命と生活を守る」ことである。この科目では、「生活の中で健康をどう考えたらよいのか」について広範囲に探求する。本講義では、公衆衛生の視点を獲得し、視野を広めることを目的として以下の項目について理解を深める。

1. 公衆衛生の目的・課題
2. 公衆衛生の実践活動
3. 公衆衛生を支える科学、技術

【学習目標】

本講義では、公衆衛生の視点を獲得し、視野を広めることを目的として、以下の項目について理解を深める。

1. 公衆衛生の目的・課題
2. 公衆衛生の実践活動
3. 公衆衛生を支える科学、技術

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス 公衆衛生概論	講師の自己紹介 講義の進め方 世界の健康課題（平均寿命）	志渡晃一
2	公衆衛生概論	世界の健康課題 環境衛生活動 保健医療福祉による国際貢献（チェルノブイリ）	志渡晃一
3	公衆衛生概論	平和、公衆衛生と戦争（アウシュビッツ）	志渡晃一
4	公衆衛生概論	ユニセフ活動 疾病予防活動（きれいな水） SDGs	志渡晃一
5	予防医学	感染症	志渡晃一
6	予防医学	生活習慣病	志渡晃一
7	予防医学	ライフスタイルと健康 笑いの効用	志渡晃一
8	疫学	疫学概論	志渡晃一
9	疫学	記述疫学と分析疫学	志渡晃一
10	健康科学	精神保健	志渡晃一
11	健康科学	環境衛生	志渡晃一
12	社会医学	医療訴訟の現状と課題	志渡晃一 安彦裕介（特別講師）
13	社会医学	健康の社会的決定要因	志渡晃一
14	社会医学	ソーシャルキャピタル	志渡晃一
15	総括	これまでの講義を基に、公衆衛生の視点について総括	志渡晃一

【評価方法】

レポート100%

【備 考】

教科書：小山洋 他 編 「シンプル衛生公衆衛生学」 南江堂 2020年

参考書：厚生統計協会 編 「国民衛生の動向」 2020年

【学習の準備】

教科書、参考書に一通り目を通して、公衆衛生学の守備範囲を確認すること。その上で、知識の習得よりむしろ概念の理解に向けて80分程度予習し準備すること。受講後は自分なりに理解できるまで復習（80分程度）すること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP4）関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。